

事業目的

- 「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」を実現するため、適切な支援につながっていない認知症の方を早期発見・早期診断・早期支援に結びつけることを目標とする。
- この目標を達成するため、認知症初期集中支援チームを認知症疾患医療センターに配置し、中央区・南区をモデル区として認知症の方を支援するネットワークを活用し、本事業の広報・普及啓発及び初期集中支援業務等を実施することによって、認知症の方を適切な支援機関に結びつける取り組みを進める。
- この取り組みをもって、ネットワークの早期発見・早期診断・早期支援機能が機能し、認知症の方を支援する地域の体制を構築することを目的とする。

事業概要

【実施期間】 平成28年4月1日～平成29年3月31日

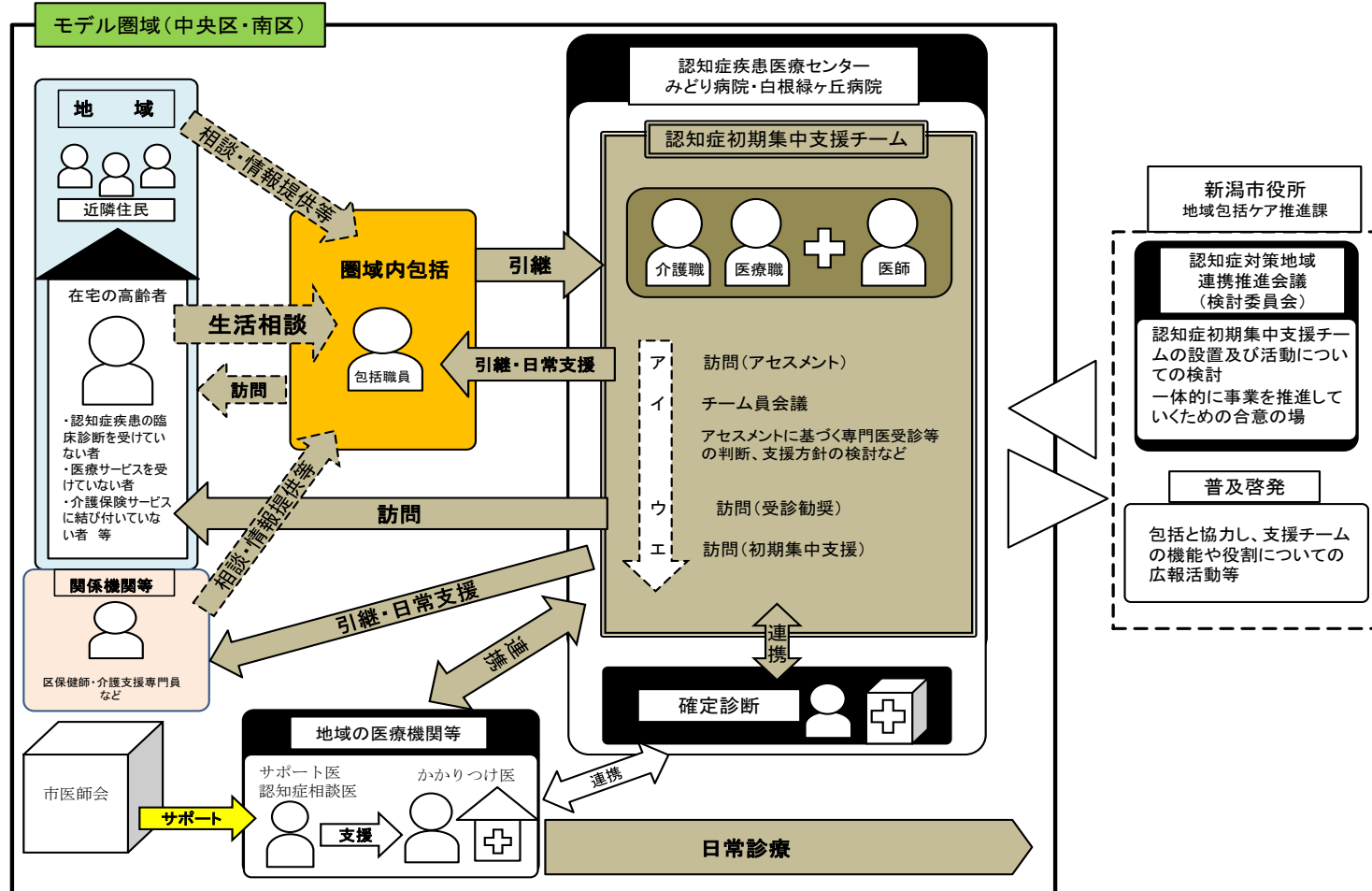
【事業実施区】 中央区（地域包括支援センター圏域 関屋白新・ふなえ・宮浦東新潟・姥ヶ山）  
 南区（地域包括支援センター圏域 あじかた・しろね北・しろね南）

【チーム設置場所・体制】 ・総合リハビリテーションセンターみどり病院 ⇒ 医療職：保健師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士  
 （専門医1名+専門職9名） 介護職：社会福祉士・介護福祉士 ※チーム構成員として臨床心理士1名  
 ・白根緑ヶ丘病院 ⇒ 医療職：看護師・精神保健福祉士 介護職：社会福祉士（専門医1名+専門職3名）

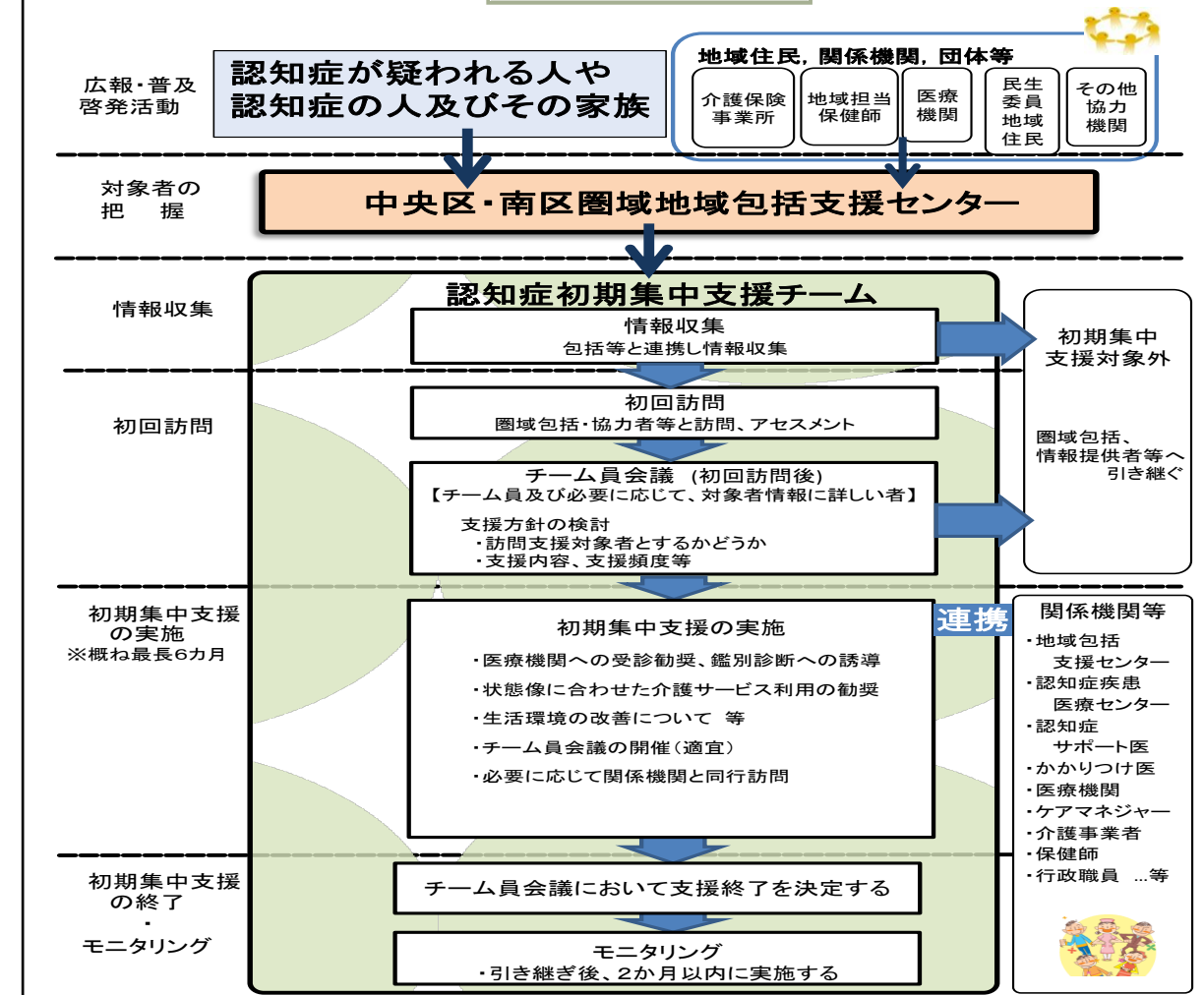
【平成27年度モデル事業結果】（平成28年1月～3月）

	相談連絡件数	支援対象者件数	ケース概要	チーム員会議回数
総合リハビリテーションセンターみどり病院	12件	7件	■医療サービス・介護サービスを受けておらず ①認知症の臨床診断を受けていない ②継続的な医療サービスをうけていない ③介護保険サービスに結びついていない	7回
白根緑ヶ丘病院	4件	2件	■医療・介護サービスを受けているが、行動心理症状が顕著なため対応に苦慮している	2回

事業概念図



業務の流れ



※モニタリング(引継ぎ)終了後も、相談助言は随時対応